

# 会 議 録

|                    |     |   |      |    |
|--------------------|-----|---|------|----|
| 会議名<br>(審議会等名)     |     | 第7期相模原市中央区区民会議小委員会（グループ1）   |      |    |
| 事務局<br>(担当課)       |     | 中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）  |      |    |
| 開催日時               |     | 令和5年10月31日（火） 9時30分～10時00分  |      |    |
| 開催場所               |     | 相模原市民会館 2階 第2大会議室   |      |    |
| 出席者                | 委員  | 5人（別紙のとおり）  |      |    |
|                    | その他 | 0人  |      |    |
|                    | 事務局 | 3人（区政策課職員）  |      |    |
| 公開の可否              |     | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可                     | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 |     |   |      |    |
| 会議次第               |     | 開 会<br>1 議題<br>(1) 情報提供<br>・市、団体がそれぞれ抱える課題について<br>(2) 第7期中央区区民会議重点行動について<br>・「子育て支援」<br>・「子どもの健全な育成環境の充実」<br>閉 会    |      |    |
| 会議結果概要             |     | これまでの議論の中で、こども食堂、無料学習支援塾ともに担い手不足、情報発信が課題となっている。<br>まずは担い手不足の解消に向けて、どこの取組主体に働きかけを行っていくか、事務局側でも事前に情報収集し、次回の会議で検討していく。 |      |    |

主な内容は次のとおり。

## 開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

### 1 議題

#### (1) 情報提供

事務局から提言についての説明を行った。(参考資料)

#### (2) 第7期中央区区民会議重点行動について

(加賀谷委員)

担い手不足はこども食堂と無料学習塾、共通の課題である。

若い人、高齢者関係なく、やる気のある方にボランティア参加していただきたい。

こども食堂にボランティアでくる方は、SNSやチラシよりも近隣の方の声かけや教えてもらって勇気を出して来る方が多い。地域で何かしてみたいと思っていた60代くらいの方が、きっかけがない、知っている人がいないと参加しにくいという方が多い。

担い手の発掘の仕方を人と人との繋がりの中で広げられたらいいと思う。

また、立ち上げた団体の課題としては、代表や中心となる方が抜け、不在となった場合にその人がいないとだめという状況に陥ってしまうこと。

一度立ち上げたら、組織としての継続性が求められる。ボランティアを募るだけではだめで、組織としての役割をしっかりと作り上げることが重要である。

(八木委員)

地域のボランティアはチラシとかではなく、知人や友人、地域のつながりで参加してもらう方が多い。知人への声かけが多い。一本釣りの場合もあると思う。

大学生への声かけの場合、ボランティアに参加すると単位がもらえるような制度があるのか。包括連携協定を結ぶ大学にそのような制度はあるのか。

(飯島会長)

現在では、ボランティアに参加しただけでは何を学んだのか、身に着けたのかが分からないという点があるので、参加しただけで単位という制度はなくなった。サービスラーニングがあり、事前学習やレポートを提出してから社会に出て学び、知見が得られていれば単位が取得できるような講義はある。

(八木委員)

学生に積極的に参加を促すには、学生側にメリットとなるような制度が必要である。実際に大学生でボランティアをしているのは、親がボランティアをしていることや、地域からの声かけがきっかけとなっているのがほとんどである。学生側にメリットがないと大学への声かけでは参加してもらうのは難しいのではないかと。

(飯島会長)

実際にボランティアをしている多くは、教員を目指す学生である。地域で教育の問題を知るために、積極的に活動している。単位化される訳ではないが、教職課程で必須となっている。

(清水委員)

ボランティアをする側の居場所や、相談窓口となるような場所が必要だと思う。担い手の居場所も考える必要がある。どこか相談窓口があれば行きやすい。

(酒井委員)

自分の子どもとボランティア参加したことがあるが、子どもがボランティアの経験を通して沢山の大人と関わることは大事だと思う。大学生だけでなく高校生、中学生でもいいと思う。ボランティアの方の居場所が必要で、ボランティア体験ができるような支援が必要である。枠を超えて居場所づくりになるとよいと思う。

(八木委員)

災害時の避難場所も同様で、スタッフだけでは到底運営できない。参加する人が自分でできることを、お手伝いしてもらうことが求められる。

(酒井委員)

誘い合いや声かけを広げていくのは大切である。

(清水委員)

居場所づくりのための会場確保は誰がするのか。団体がやろうとすると難しい。

(加賀谷委員)

今までは団体がそれぞれ、公民館や自治会館、空き家などを利用して自分たちで使えるように活動してきた。公民館で学習支援の部屋を確保したりして、使えるような状況になってきたが、まだ児童館の利用はあまり進んでいない。

学習支援の時間帯は17時以降になるので、児童館の閉館後の時間を無料学習塾として使えるように行政の方をお願いして利用できるようにするとか。既存の公共施設を利用できるような制度があるとよいと思う。

(割柏委員)

実際に動いていただいているのは新規の団体ではなく、既存の団体。

人、お金、場所がどこも課題。地域としてできることを何とかしてきたが人を集めるのはとても難しい。今までは地域の声かけでなんとかしてきたが、それも高齢化もあり難しい状況である。地域として、行政として何ができるのか具体的に考えていくべきである。

SNSは若い子向けで声掛けは高齢者向け。声掛けは地域がやるしかない。

チラシなどの発信を「子ども食堂に来てください」から「ボランティアに参加してください」にシフトすることも求められる。

(加賀谷委員)

担い手に対するチラシはずっと考えている。子ども食堂に限って言えば、担い手は充実している。その日に参加できる方に集まってもらっているが、手持ち無沙汰の場合もある。

(割柏委員)

そういう状況の地区もあると思うが、市全体の状況としてみるべきである。

(加賀谷委員)

やりたいと思う方がいても、調理師免許などの資格がないと思って一步を踏み出せない人が多い。研修などを市、社会福祉協議会や公民館の講座などでやるのもいいかなと思う。

(割柏委員)

そういった一步を踏み出すきっかけを作ることはよいことだと思う。

(八木委員)

社会福祉協議会の決算が出ている。どんな相談が多いのか、相談の集約結果を次回分かるようにしてほしい。

(事務局)

担い手不足、情報発信の解消に向けて、次回、取組主体などの議論を進めていきたい。

社会福祉協議会への相談については、事務局が情報収集して次回、報告する。

以 上

第7期第7回相模原市中央区区民会議小委員会（グループ1） 委員出欠席名簿

| No. | 氏名     | 所属等                  | 出欠席 |
|-----|--------|----------------------|-----|
| 1   | 小川 紳夫  | 相模原市公民館連絡協議会         | 欠席  |
| 2   | 加賀谷 育子 | 特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら | 出席  |
| 3   | 酒井 志保  | 相模原市PTA連絡協議会         | 出席  |
| 4   | 清水 洋子  | 相模原市私立保育園・認定こども園園長会  | 出席  |
| 5   | 高橋 采花  | 公募委員                 | 欠席  |
| 6   | 八木 鉄雄  | 星が丘地区まちづくり会議         | 出席  |
| 7   | 割柏 秀規  | 光が丘地区まちづくり会議         | 出席  |

（氏名50音順、敬称略）